

みずほCustomer Desk Report 2023/06/23号 (As of 2023/06/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	141.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	141.72	1.0991	155.73	1.2770	0.6799
SYD-NY High	143.23	1.1012	156.93	1.2845	0.6806
SYD-NY Low	141.63	1.0949	155.61	1.2727	0.6745
NY 5:00 PM	143.14	1.0955	156.77	1.2749	0.6757

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	33,946.71	▲ 4.81	日本2年債	▲0.0800%
NASDAQ	13,630.61	128.41	日本10年債	0.3700%
S&P	4,381.89	16.20	米国2年債	4.7899%
日経平均	33,264.88	▲ 310.26	米国5年債	4.0420%
TOPIX	2,296.50	1.49	米国10年債	3.7956%
シカゴ日経先物	33,505.00	▲ 125.00	独10年債	2.4865%
ロンドンFT	7,502.03	▲ 57.15	英10年債	4.3665%
DAX	15,988.16	▲ 34.97	豪10年債	3.9590%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	8.61%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.64%
NY金	1,923.70	▲ 21.20	USDJPY 6M Vol	9.59%
WTI	69.51	▲ 3.02	USDJPY 1M 25RR	▲0.69%
CRB指数	265.72	▲ 4.93	EURJPY 3M Vol	9.04%
ドルインデックス	102.39	0.31	EURJPY 6M Vol	9.22%

東京	東京時間のドル円は141.72レベルでオープン。仲値にかけ実需のドル買いもありドル円は上昇。上昇一服後は小反落も午後にかけて再び上昇する展開となった。スイスやイングランド中銀の会合を控え、ドル円は141円台後半で値幅が30銭未満と狭いレンジでの推移となった。結局141.88レベルでクロスした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.88レベルでオープン。欧州時間に各国中銀の利上げ観測もあり欧州通貨が堅調な展開。特にユーロ円は実にリーマンショック以来の156円台を記録した。ドル円もクロス円に連れて上昇し142.12レベルでNYに渡った。なお、スイス中銀は予想通り0.25%利上げをした一方で、英中銀は予想を上回り0.50%利上げとなり、1.2758レベルで始まったポンドは1.28半ばまで買われる場面もあったが、景気減速懸念から程なく利食われた。トルコ中銀は6.50%の利上げを行なったが、予想を大きく下回る利上げ幅であったことで失望売りを誘い、リラは史上最高値を更新した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台後半でスタート。141円台後半を中心とした狭い推移後、英中銀がサプライズの50bp利上げを発表した事を受け、円が対ポンドで売られる中、ドル円も小幅上昇し、142.12レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想より悪化するも、反応薄。続いて発表された米5月中古住宅販売件数が予想を上回り、並びに行われた米議会証言にてパウマンFRB理事が「インフレ抑制のために追加利上げが必要」との見方を示すと、買いで反応し、142円台後半まで上昇する。午後は米金利が高水準で推移する展開が下値を支え、底堅い推移が続く。終盤には143.23まで続伸し、年初来高値を更新する。その後、143.14レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。高値圏の1.10台前半まで上昇する場面も見られたが、伸び悩み反落し、1.0990レベルでNYオープン。午前中は米経済指標の内容と米要人発言を受け、ドルが買われる中、1.0949まで下落する。午後は上昇材料を欠き、1.0950台で上値重い展開が続き、1.0955レベルでクロス。

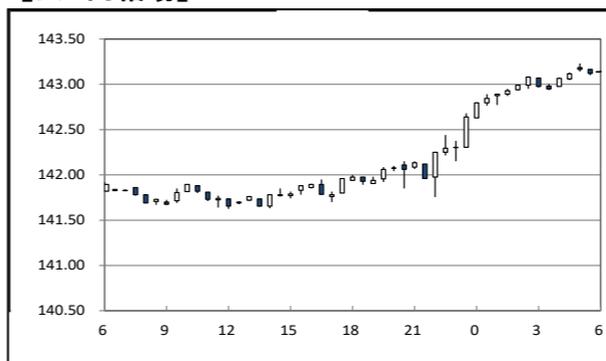
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月22日	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	22-Jun 5.00%	4.75%
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月 -0.15	-0.10
	21:30	米 新規失業保険申請件数	17-Jun 264k	259k
	22:45	米 ポウマンFRB理事 講演	「インフレ抑制の為、追加利上げが必要」	
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 4.30m	4.25m
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	「年内2回の追加利上げする可能性」	

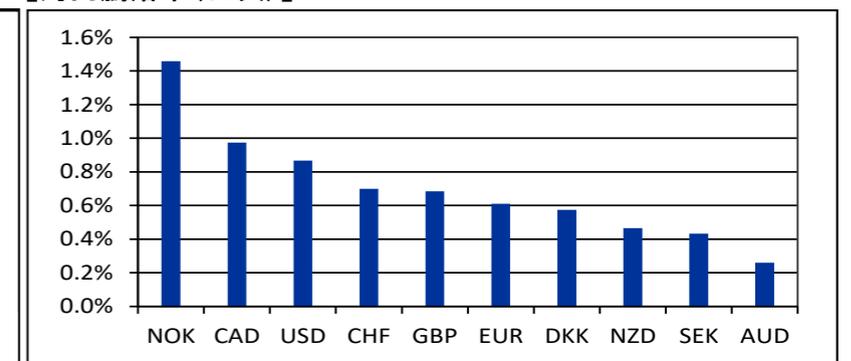
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月23日	08:30	日 全国/全国コア/全国コアコアCPI	5月 3.2%/3.1%/4.2%	3.5%/3.4%/4.1%
	16:30	独 製造業PMI・速報	6月 43.5	43.2
	16:30	独 サービス業PMI・速報	6月 56.3	57.2
	16:30	独 コンポジットPMI・速報	6月 53.3	53.9
	17:00	欧 製造業PMI・速報	6月 44.8	44.8
	17:00	欧 コンポジットPMI・速報	6月 52.5	52.8
	17:00	欧 サービス業PMI・速報	6月 54.5	55.1
	17:30	英 製造業PMI・速報	6月 46.8	47.1
	17:30	英 サービス業PMI・速報	6月 54.8	55.2
	17:30	英 コンポジットPMI・速報	6月 53.6	54.0
	22:45	米 製造業PMI・速報	6月 48.5	48.4
	22:45	米 サービス業PMI・速報	6月 54	54.9
	22:45	米 コンポジットPMI・速報	6月 53.5	54.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-143.80	1.0900-1.1000	156.00-159.00

【マーケットインプレッション】

昨日はイングランド中央銀行が事前予想を上回る50bpの利上げを決定したほか、スイスやノルウェーでも利上げを決定し、市場にとっては、米7月利上げ再開を想起させる材料となった。加えてパウエル議長をはじめ、FRB理事からも追加利上げに積極的な発言が確認されており、米金利の上昇とドル買いを後押し。ドル円は141.72付近でオープン後、海外時間に上昇開始。年初来高値を143.23まで更新する展開となった。

本日のドル円は142.50をサポートにじり高推移を予想。足許の円安を受け本邦当局による口先介入の頻度は増しており、介入への警戒感が煽るものの、欧米を中心に金利上昇圧力がかかる中、本邦は植田総裁から粘り強い緩和策を継続する姿勢が示されたばかりのタイミングということもあり、金融政策差を意識した円売り地合いは根強いものと考え。また本日は、欧米指標の発表やラガルド総裁、複数のFed高官の発言も予定されており、結果次第でボラティブルな値動きとなる可能性には留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・松木